

夢を掴む 夢を追いかける

1月17日(火)の県内2紙に佐久本宝君(3-4)が「日本アカデミー賞新人俳優賞」を受賞したと大きく取り上げられました。今をときめく有名な俳優さんたちと共演し、その実力を認められたものです。

受賞の感想とこれからの抱負を聞いたところ「実感がなく、不思議な気持ちです。これから出会う作品としっかり向き合いたい。頑張りたいです」と、さらに「自分じゃないものに自分を持ったまま演じること。しっかりと『役の持つ力』を伝えられるような俳優をめざしている」とも話してくれました。

そのために日頃のトレーニングとして、主に邦画のDVDを観て特徴的な俳優さんの台詞や表情を研究しているそうです。

4月からは東京での俳優業が始まりますが「都会に染まらないように、沖縄魂を持って頑張ります」ときっぱり。7代目肝高の阿麻和利はいよいよ全国席捲のため出陣だ!!

1月12日(木)には、本校OBの埼玉西武ライオンズ投手の國場翼さんがひょっこり来校してくださいました。

冬のオフシーズンに自主トレを兼ねて帰郷したところであるとのこと、当日は完全休養日で「母校にあいさつをしたかった」とあり、以前からご本人のことは耳にし、一度お会いできればと思っていた矢先の出来事で私自身興奮と恐縮の連続でした。



話してみると、とても気さくな方で「G高は、あの頃(在校当時)のまま門を入ると高校時代の思い出が鮮明に思い出されます」とあり「私が今あるのは、お世話になった先生方や友人たちのおかげです」と感謝の気持ちを述べていらっしゃったことが印象的でした。

後輩たちにメッセージをリクエストしたところ「自分の夢を追いかけろ!!」と直筆で頂戴しました。どこに書いて頂いたかはまだ秘密です。國場選手どうもありがとうございました!!

プロ野球選手、俳優、、、特異な能力によりほんの一握りの人しか活躍できない夢の職業、見る人に夢を与える職業、そしてその栄光を掴もうとした多くの人々に挫折と苦悩と嫉妬を与えてきた職業、、、。

表現者としての彼らを目のあたりにするとき、共通するのは非の打ち所のない独自性と強いまなざし、そして揺るぎない向上心に圧倒されることです。

國場選手は球速152kmを超えたそうです。佐久本君は毎日台本を読み解く訓練を重ね、休日はただぐったりしているそうです。

羨望される人物にはたゆまぬ努力を続ける意志と謙虚さが備わっている。2人にインタビューしてあらためてそう思いました。

G高卒業生にはプロ野球選手が居ます。本校の3年生には将来を嘱望される俳優が居ます。